


シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第33回 博物館における動態保存のあり方 2015年2月22日(日) 午後1時～午後4時45分

主催： **中部産業遺産研究会** The Chubu Society For The Industrial Heritage

共催：  **トヨタ産業技術記念館**

後援：愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会・産業考古学会・日本産業技術史学会
(一社)日本機械学会・(一社)中部産業連盟・(公財)中部圏社会経済研究所
(一社)中部経済連合会・(公社)日本技術士会中部本部



■ 会場 トヨタ産業技術記念館 / ホールA

〒451-0051 名古屋市西区則武新町4丁目1番35号

公共交通機関でのご来館は

- 名鉄：名古屋本線「栄生駅」下車、徒歩3分
- 市バス：名古屋駅11番のりば「名古屋駅」行(循環)「産業技術記念館」下車、徒歩3分
- なごや観光ルートバス「メーグル」：名古屋駅8番のりば「トヨタ産業技術記念館」下車、徒歩0分
- 地下鉄：東山線「亀島駅」下車、2番出口より徒歩10分
- J.R・近鉄・名鉄「名古屋駅」から徒歩25分、タクシー利用で5分

お車でのご来館は

名古屋高速都心環状線「錦橋出口」あるいは「丸の内出口」から10分
無料駐車場完備(乗用車210台、大型バス10台)

博物館における動態保存のあり方

博物館では機械など本来は動くものであれば動態保存することが望ましい。博物館展示の使命の一つは見学者にいか
に理解しやすい展示方法をとるかであろう。動態展示はその点では格段に情報量が多く、また動かすことで関心も呼ぶ
ことになろう。しかし文化財保護の立場からは動かすことは消耗にあたりとされ、また動態整備への負担や課題も多い。
実際に動態保存・展示している博物館での事例や行政の立場など、さまざまな角度から議論を深めたい。

プログラム 12:00 受付開始

13:00 開会

13:05 ~

講演「近代文化遺産の保存と動態保存に関して」

講師 中山 俊介（東京文化財研究所保存修復科学センター近代文化遺産研究室長）

講演「動かし続けることにこだわる博物館—トヨタ産業技術記念館の意義と課題—」

講師 成田 年秀（トヨタ産業技術記念館副館長・学芸員）

講演「歴史ある工作機械をいかに甦らせるか」

講師 三好 稔幸（ヤマザキマザック株式会社生産技術部博物館担当）

講演「ドイツ・ラインラント産業博物館 ミュラー生地工場の機械」

講師 マイヤー オリバー（会員、愛知教育大学教育学部准教授）

15:30 ~

質疑応答 意見交換

16:45 閉会

17:05 ~ 18:45 懇親会（事前申込者のみ）会場：ブリックエイジ（館内）

参加費（講演報告資料集の代金を含む）

一般 1,000円

* 中部産業遺産研究会員 500円

* 学生で資料を必要としない場合 無料

懇親会 5,000円（予定）

※参加費はお申し込み後、出来るだけ事前に
振込をお願いします。

※振込先

【郵便振替】

口座番号：00880-2-83831

口座名称：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」

（個人での振込は申込者の名前をお願いします）

定員

シンポジウム：最大99名（会場の定員）

懇親会：20名

（定員になり次第締め切らせていただきます）

お問い合わせ

【中部産業遺産研究会ホームページ】

<http://csih.sakura.ne.jp/>

【シンポジウム開催案内ホームページ】

<http://csih.sakura.ne.jp/nitigi.html>

【シンポジウム実行委員会事務局 山田 貢】

E-mail yamada3a1415926535@ca2.so-net.ne.jp

FAX (052) 795-4297

お申し込み

ホームページ、または郵送でお申し込み下さい。
なお、参加券は発行しません。定員超過などによる
お断りがなければ、当日受付までお越しください。

◎ホームページ

下記アドレスの「参加申し込みフォーム」からお申し
込みください。

<http://csih.sakura.ne.jp/sympo.html>

◎郵送

下記申込書をハガキに貼り付けてお送りください。

〒470-0213 愛知県みよし市打越町九蔵釜 93

加藤 真司 宛

「日本の技術史をみる眼」第33回申込書	
①(フリガナ)	氏名
② 区 分	一般・中部産業遺産研究会員・学生
③ 連絡先	・ 電話 ・ E-mail
④ 所属(団体名・勤務先など)	(学生の場合は学校名、学年を記入してください)
⑤ 懇親会参加	する ・ しない

* 申込書に記載の個人情報は、当シンポジウムの運営及び
緊急の連絡のみに使用します。

* 勤務先等で複数お申し込みの場合は別紙も可、その場合、
全員の参加者名をご記入ください。